

## 2014年度 理事長年頭所感



2014年度  
公益社団法人  
岡山青年会議所  
第64代理事長

鈴木 賢史

■生年月日 / 1975年3月9日  
■勤務先 / ネットヨタ山陽  
専務取締役

新年あけましておめでとうございます。私は2014年度公益社団法人岡山青年会議所第64代理事長を務めます鈴木賢史と申します。一年間よろしくお願ひ致します。

戦後間もない1951年に設立した岡山青年会議所も歴史を重ね、64年目の新たな年を迎えました。「青年は人類社会発展の原動力」であると謳い、郷土おかやまの再建に貢献せんとした創始の精神は、時代は変わっても脈々と今に受け継がれています。私たちは活力あふれるひとづくりの団体として、郷土おかやま発展の原動力となるべく、志高く活動して参ります。

昨年、岡山市に新市長が誕生し、今秋にはESD世界会議が開催され、また岡山駅前に大型商業施設がオープン控えるなど、市政や商圈がダイナミックに変化を迎えています。そのような中で公益社団法人格を持つ岡山青年会議所は、未来を見据え、真に公益に資する事業を、市民の皆様や行政と協力・連携して活動して参ります。そして人と人の繋がりを深め、まちづくりに積極的な「人材」の発掘に繋がります。

ひとづくりを大切にする岡山青年会議所が考えるまちづくりには、教育の視点が重要と考えます。かつて「教育県」と謳われた岡山は、今その面影を感じる事が出来ません。近年のデータからは、学力の低下、不登校や少年犯罪の発生率の高さなど、危機的な現状が浮き彫りとなっています。温暖な気候や自然に恵まれ、産業や文化が発展しているにもかかわらず、本来子どもたちが享受すべき健全な成長の機会が失われているように感じられます。まちの魅力拡大や活性化を目指す上で、大きな損失に繋がりがねないこの教育問題の解決には、行政へ依存するだけではなく、親や地域の大人たちも子どもを育む力を学び、子どもたちはよりよく生きる力や、人生を豊かにする考え方を身につける必要があるのではないのでしょうか。

今年度の岡山青年会議所は「学びを楽しむ」をテーマに教育3事業を展開していきます。

まず5月には、教育問題に見識のある講師を招いてフォーラムを開催致します。単なる学力の向上ではなく、自ら考え自ら学ぶことの楽しさ

と大切さ、夢に向かう姿勢など人生を豊かに生きるために重要な事柄を伝えていただきます。

そして同月、親子で参加するロゲイニング事業を行います。ロゲイニングとは、チェックポイントを出るだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う競技です。親子で話し合いながらポイントを自ら選択することにより、自然と地域の歴史に触れることが出来るようになっており、郷土を愛する心を育み、親子でともに考え学ぶことの楽しさを知っていただきます。

8月には「学びを楽しむ」教育3事業の総括として子ども職業体験事業を開催します。参加した子どもたちに様々な「仕事」に挑戦してもらい、社会の仕組みや働くことの喜び、苦勞をしながら学ぶことを目的とします。仕事の楽しさと厳しさを学ぶことで、働く人への尊敬や感謝の気持ちを育み、子どもたちが自分の将来を考えるきっかけとなるような事業と致します。

そして、すっかりおかやまの夏の風物詩となったうらじゃ。市民が誇りを持って参加するまつりへとさらに進化するため、日本各地から踊り連やファンを呼び込み、観光資源としても活用出来るよう、第21回うらじゃをしっかりと支えて参ります。

私たちはこれらのまちづくり事業で直接まちを改革することを目指しているわけではありません。事業を通して私たち自身が将来まちづくりができる人材となること、そして同じくまちをよくしたいと志を持ち行動する市民を増やすことを目指しています。社会においては人が財産です。困難の多い時代にあって、私たちは勇気を出してその困難に挑み、自らの成長に繋げて参ります。メンバー一人ひとりが成長することで郷土に多くの人財を輩出し、最強のひとづくり団体となること、おかやま発展の原動力となると固く信じ、全力でその使命を果たしていく所存です。

最後になりましたが、関係各位におかれましては公益社団法人岡山青年会議所に今後とも多大なるご支援ご協力をいただきますことを心よりお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭所感

### 全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」を目指して



岡山県知事

伊原 隆太

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、公益社団法人岡山青年会議所の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

私が、「生き生き岡山」の実現を掲げ、知事の職に就いてから2度目の正月を迎えました。この1年、私は、岡山県をより良くしたい、もっと元気になりたいとの志で、一心に県政に取り組んで参りました。昨年は、「教育の再生」と「産業の振興」の2つの最重要課題をはじめ、本県の抱える課題の実態や分析に力を注ぐとともに、その解決に向けた「新しい種」をまいた1年でもありました。

まず、危機的状況にある教育再生には、小・中・高等学校を訪れ、現場の先生方の声を直接伺い、児童生徒に語りかけるとともに、県内全市町村の教育長との意見交換を行いました。

また、産業の振興については、環境アセスメントの要件緩和や補助制度の拡充などを行うとともに、本県の安定した操業環境や交通利便性などをトップセールスも交えて積極的にPRし、県南での大手洋菓子メーカーや、県北での真庭産業団地への企業立地につなげることが出来ました。

これらの取り組みを進める中で、この2つの最重要課題を良い方向に動かすことが、子育て支援や医療・福祉サービスの充実、安全・安心を実感できる地域づくりなどに対しても、幅広い波及効果と将来に向けた好循環を生み出すことを改めて確信いたしました。

このたび、改訂した「晴れの国おかやま生き生きプラン」では、こうした私の思いを盛り込んだ「教育県岡山の復活」「地域を支える産業の振興」「安心で豊かさが実感できる地域の創造」の3つを重点戦略とする平成28年度までの行動計画など、これからの県が進むべき道筋をお示したところです。

今年、この新たな羅針盤に沿って、県政の基本目標である全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向け、さらなる一歩を踏み出す年となります。「新しい種」を数多く芽吹かせ、大きく育むとともに、一つひとつ着実に成果を積み上げる1年となるよう全力を尽くして参りますので、岡山青年会議所の皆様には、ご理解と力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

公益社団法人岡山青年会議所の皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素から市政への格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の3つの視点を大切に、皆様方と一緒に考え、一緒に行動しながら、後世につけを先送りしない行財政改革と施策の重点化・優先順位付けを徹底する中で、恵まれた自然と気候、災害が少なく、交通の要衝に位置する優位性、医療・福祉・教育等の分野をはじめとした都市機能集積など、本市が持つ強みを最大限にいかし、全国、さらには世界に開かれた、魅力と活力あふれる都市づくりを進めております。本年は、「ESDに関するユネスコ世界会議」が秋に開催されます。地域を挙げて、持続可能な社会づくりに向けた新たなESD推進モデルを岡山から世界に発信していく大舞台です。また、まちなかの回遊性を高め、イオンモール岡山の開業を中心市街地活性化の起爆剤ともしていかなくてはなりません。もちろん、公共交通の利便性向上や強みをいかした産業・医療・福祉の振興、防災・減災対策の加速、そして、女性が輝き、子育てしやすいまちづくりの



岡山市長

大森 雅夫

取組なども大切です。

干支の「午」にちなみ、指定都市・岡山が空高く翔ける天馬の如く力強い飛躍を遂げる年となるよう、市政運営に全力を傾注してまいり所存ですので、皆様方におかれましては、市政への変わらぬご支援と本市のまちづくりへのなお一層、積極的なご参加をお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年を迎えてのごあいさつといたします。